

2002年度 数理情報学科 数理情報演習
携帯電話で動く Java プログラムを作ろうプロジェクト
担当教員 樋口三郎¹(定員 9名)

いわゆる i アプリを作って動かすことが目標です。503i, 504i を持ってない人でも楽しめます(詳しくは後ろを見てね)。

Java でオブジェクト指向の概念もちょっと学べるといいけど、とりあえず動くものを作って、携帯にダウンロードするところまで一通りやってみよう、というのりです。

iappli.eps

i アプリとは Docomo の一部の携帯電話の上で実行できる Java のアプリケーションです。規格は完全に公開され、開発環境も無料で手にはいるので、誰でも自分専用の i アプリが作れます。

開発は Windows 上で行います。Windows 上でプログラムを作成、コンパイルします。それを、自分の Web ページにおいて、i-mode のブラウザで携帯にダウンロード、実行します。

使う Java は、J2ME² といって、文法としては、数値計算法などで使ってる Java (J2SE) とほとんど同じです。

計画 いきなり初回から作りたい i アプリを作るのは、たぶんちょっとしんどいと思います。次のような手順を考えてます。

ステップ1 Java 言語にもっと慣れる。
ステップ2 i アプリ特有の事項に慣れる。
ステップ3 (間に合わなければ省略)

Linux のインストールから始めて Web server を構築し、i-mode で見られる Web page を作成する。

ゴール 自分の作りたい i アプリを作成する。

野望 通信型 i アプリを作成し、通信相手の server を構築する。

スケジュール 毎週木曜日 15:10-18:20 には全員が集合してレクチャー、打ち合わせ、作業を行います。それ以外にも、適宜、実験室 1-539 や自宅で作業します。最後に、作成した i アプリを互いに発表します。

必要な装備 実験室ですべての作業が可能ですが、家に PC (Windows) を持っている人には、家でも作業が出来るようにアドバイスします。

i アプリ対応の携帯は必須ではありません。エミュレータソフトを使用して開発を行います。i アプリ対応の携帯を持っている人は、本物の携帯で動作確認できます。

期待する予備知識 2001年度の数値計算法実習、または2002年度の計算科学実習程度のJavaプログラミングの経験があるといいですね。

備考 参加を希望する方は、必ず事前に1-508に相談に来てください。希望するかどうか考え中の方もお気軽にどうぞ。サンプルプログラムや、参考書もお見せします。いつでも来てくれていいけど(ドアにスケジュール貼ってます)。

6/07(金)4講時, 6/13(木)2講時

は確実に1-508にいるようにします。

Webにも追加資料を置いているかもしれませんが³。

¹部屋: 1-508, 実験室: 1-539, 電話: 077-543-7501,
mailto:hig@math.ryukoku.ac.jp, http://www.math.ryukoku.ac.jp/~hig/

²au や J-Phone も、詳細は異なりますが同じ J2ME を使っています。

³http://sparrow.math.ryukoku.ac.jp/~hig/juniors/